

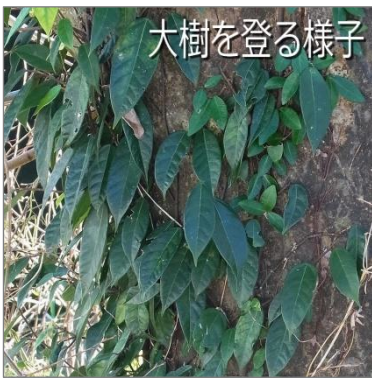
常緑／つる類／木本植物／在来種



科名 クワ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株
草本扱い（保証の観点より）

気根を伸ばして壁面に密着しながら生長するため、壁面緑化に利用される。日陰に強い雌雄異株の常緑つる植物。花囊（かのう）は雌雄同形で、イチジク状の果実をつける。直径1cm程の果実は秋に黒紫色に熟す。近縁種のオオイタビに比べ、葉の先が長く尖り果実が小さい。



Memo

イチジクの花は、果実の内部に咲くため外観上は見えない。この中で花が咲き結実する。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期							■ (観賞には向かない)						
果 実										■			
紅 葉													
施 肥	(生長力旺盛なので施肥は控える)												
剪 定	(適宜剪定する)												

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壤	乾		○		湿
寒 さ	強		○		弱
暑 さ	強	○			弱
潮 風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
							○

ポイント


気根により、擁壁や石積に張り付くように登って行く。つるを誘導すれば、ほかの植物では生育しにくい土留めや擁壁の緑化ができる。近縁種のオオイタビほどには密生して繁茂しない。


剪定

気根を伸ばし密着するので、不要なつるの剪定は気根が強く固着する前に適宜切除する必要がある。定着すると旺盛に繁茂するので、生育範囲を設定して管理するとよい。

病虫害

病虫害は少ない。

呼べる鳥  [メジロ](#)

呼べる蝶  [イシガケチョウ](#)・ツマムラサキマダラ